

41351

教科書文庫

4
810
31-1904
20000 23617

Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



© Kodak 2007 TM: Kodak

Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

© Kodak 2007 TM: Kodak



3759
Mo/4
資料室

教育部著作

尋常小學讀本 三

發行所 教育圖書及發賣會社



375.1
M014

資料室

文部省著作



尋常小學讀本

三

發行所

教育圖書合資會社

モクロク。

ダイ一	クンポポ。	一	ダイ十一	ホクル。	三十
ダイ二	サクラ。	三	ダイ十二	せんたく。	三十三
ダイ三	ナノナサ。	五	ダイ十三	シホー。	三十四
ダイ四	ツバメ。	七	ダイ十四	日とにじ。	三十七
ダイ五	ツバメトスヌメ。	十	ダイ十五	せみ。	四十
ダイ六	アヌ。	十四	ダイ十六	あさがほ。	四十四
ダイ七	コガハ。	十六	ダイ十七	ウミ。	四十五
ダイ八	タケノコ。	二十	ダイ十八	からすとはまぐり。	四十九
ダイ九	カシノキトタケ。	二十三	ダイ十九	ブドー。	五十一
ダイ十	うめのみ。	二十八	ダイ二十	とけい。	五十四



山富大
圖書印

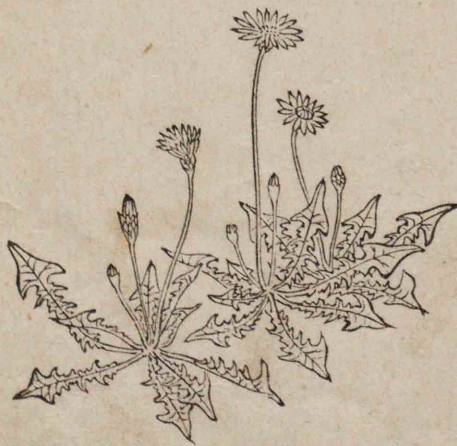
ダイ一 タンポポ。

タンポポ ノ ハナ ハ、ノハラナド ニ、
サキマス。

タンポポ ノ ハナ ハ、
タイテイ、キイロ デス。

タンポポ ノ ハナ ハ
キク ノ ハナ ニ テキマス。

アル ヒ、オチヨ ガ、ウンドーバ デ、タン



ポポ ノ ハナ ヲ ミツケマシタ。ソシテ、
 ソレ ヲ トツテ、センセイ ニ ミセマシタ。
 センセイ ハ、ツギ ノ ヨーニ、イヒマシタ。
 「アー。タイソー、キレイ デスネ。コノ ハ
 ナ ハ、ヒル ノ アヒダ ハ、コノ ヨー
 ニ、キレイニ、サイテキマス ガ、ヨル ニ
 ナル ト、ツボンデシマヒマス。ソシテ、ツ
 ギ ノ ヒ ニ ナル ト、マタ、コノ ヨ

ーニ、サキマス。」

へ、り、
か、や、

へ。り。か。や。
へ。り。か。や。
ダイニ サクラ。



サクラ ノ ハナ ガ、キレ
 イニ、サイテキマス。
 コドモ ガ、サクラ ノ キ
 ノ シタ デ、アソンデキマ

ス。

カゼ ガ フイテ、ハナビラ ガ、チラチラト、
チツテキマス。

サクラ ノ ハナ ハ、タイテイ、一ツ ノ
ハナ ニ、ハナビラ ガ、五ツツツ、ツイテキ
マス。

ミナサン ハ ソレ ヲ シツテキマス カ。

ク。シ。サ。キ。ラ。チ。

く、さ、し、
ら、き、ち、

く。し。さ。き。ら。ち。

くさ。き。さくら。

ダイ三 ナ ノ ハナ。

コレ ハ ナ ノ ハナ デス。

キイロイ チョーチヨ ガ ナ

ノ ハナ ニ トマツテキマス。

オチヨ ト オタケ ト ガ、

シヨーカー ヲ ウタツテ、アソン



デキマス。

「チヨ―チヨ。チヨ―チヨ。」

ナノハナニトマレ。

ナノハナニアイタラ、

サクラニトマレ。」

ナノハナハ、一ツノハナニ、ハナ

ビラガ、四ツ、アリマス。ソシテ、ソノ四

ツノハナビラガ、十ノジノヨ―

ニ、ツイテキマス。

ナノハナハ、タイテイノタンポポ

ノハナノヨ―ニ、キイロデス。

ハ。ン。ハ。ホ。タ。ナ。

の。ん。は。ほ。た。な。

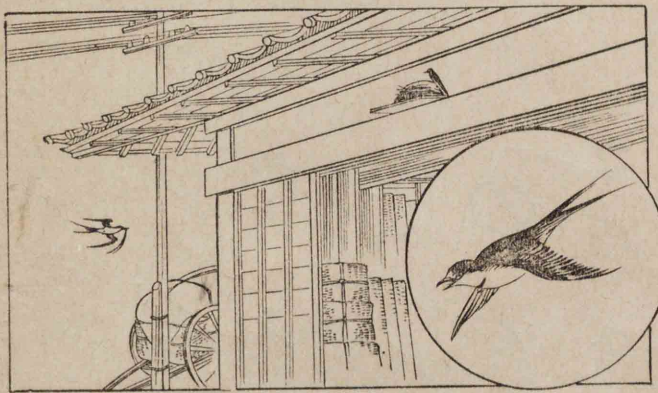
なのはな。はち。たんぽぽ。

ダイ四ツバメ。

トリガ、一ハ、ノキデ、ハタライテキマス。

たはの、
なほん

カフ
(コー)



オナジ ヨーナ トリ ガ、ムカフ カラ、ト
ンデキマス。マト。ハヤク、トンデクル デハ

アリマセン カ。

コノ トリ ハ ツバメ デス。

ツバメ ノ ヨ ハ、ナガク

テ、ニツ ニ、ワレテキマス。

クチバシ ハ ミジカク テ、

クチ ハ、フカク、サケテキマ

ス。ソレデスカラ、トンデキル トキ ニ、ム

シ ヨ トル コト ガ デキマス。

ツバメ ハ ドロ ヤ ワラナド デ、イヘ

ノ ノキナド ニ、ス ヨ コシラヘマス。

コノ トリ ハ、ヨク、ヒト ニ ナレマス。

ヒト モ、マタ、ツバメ ヨ カハイガリマス。

コノ トリ ハ、アタタカナ トコロ ガ ス

キ デス カラ、サムク ナル ト、アタタカ

ナ トコロ ニ、 イッテシマヒマス。 ソシテ、
アタタカニ ナル ト、 マタ、 カヘッテキマス。

ト。 ツ。 ロ。 メ。 ア。 ス。

と。 つ。 ろ。 め。 あ。 ぬ。

とり。 つばめ。 くちばし。 どり。

ダイ五 ツバメ ト スズメ。

アル イヘ ノ ノキ ニ、 ツバメ ノ ス
ガ アリマシタ。 ソノ ス ヲ、 アル オーチャ

あると、
ぬめつ、

クナ スズメ ガ、 ミツケマシタ。 ソシテ、 ジ
ブン ノ ス ニ シテ、 スマッテキマシタ。
ソノウチニ、 ツバメ ガ カヘッテキマシタ。
ソシテ、 ジブン ノ ス ヲ ミマス ト、 ソ
コ ニ、 ミタ コト モ ナイ スズメ ガ
ハイッテキマシタ。
ソコデ、 ツバメ ハ、 スズメ ニ、
「コレ ハ ワタクシ ノ ス デス。 ノイテ

クダサイ。」

ト イヒマシタ。

シカシ、スズメ ハ、

「イーエ。コレ ハ ワタクシ ノ ス・デス。」

ト イッテ、キキマセンデシタ。

ツバメ ハ、タイソー、オコッテ、ナカマ ヲ、

オホゼイ、ヨンデキマシタ。ソシテ、ミンナ

デ、ドロ ヲ クハヘテキテ、ソノ スノ

クチ ヲ フサイデシマヒマシタ。

スズメ ハ、スノ ナカ デ、タイソー、サ

ワギマシタ。シカシ、ドウシテモ、デル コト

ガ デキマセンデシタ。

ス。 イ。 ヒ。 テ。 ソ。 ヨ。 マ。

す。 い。 ひ。 て。 え。 よ。 ま。

すずめ。

つばめ が「のいてください。」と いひ

ま、そ、ひ、す、
よ、て、い、

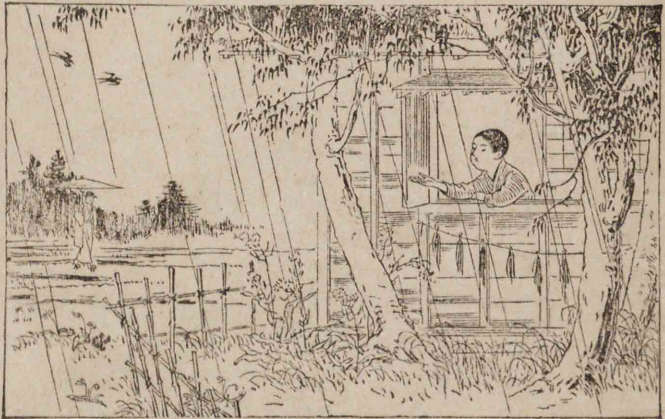
ました。

ダイ六 アメ。

ケフ
(キヨフ)
ノフ
(ノ)

ケフ モ、アサカラ、アメガ フツテキマ
ス。キノフ モ、ヨトトヒ モ、フリマシタ。
アマダレ ガ、ヤネカラ、ポチポチト、オチ
テキマス。

ジロー ハ、イマ、マド ヲ アケテ、ソト
ヲ ミテキマス。



クサ モ、キモ、ハナ モ、
ミンナ、アメニ、ヌレテキ
マス。

ツバメ ハ、アメニ、ヌレテ
モ、ソト ヲ トンデキマス。
ヒト ガ、ムカフカラ、カラ

カサ ヲ サシテ、キマス。アレ ハ ジロー
ノ オトウサン デス。

わね
わね

ワ。ネ。レ。ル。井。

わねれるわ。

あめ。わらやね。あさ。ひる。よる。

はな が ぬれてゐます。

ダイ七 コガハ。

ワタクシ ノ イヘ ノ マヘ ニハ、コガハ
ガ アリマス。

ソノ コガハ ノ キシ ニハ、クサ ガハ

エテキマス。ヤナギノキ

モ、一ポン、アリマス。

カハ ニハ、キレイナ ミヅ

ガ ナガレテキマス。ソシテ、

メダカ ガ、タクサン、ウイ

テキマス、

ワタクシ ハ、メダカ ヲ スクッテ、アソブ

コト ガ スキ デス。



イヘノマヘヲバ

ナガレルコガハ。

コガハ。ナガレテ、

ドコヘ、イク。

メダカウカセテ、

タノソバトホリ、

ナカマアツメテ、

オホカハへ。

こ、に、
お、ふ、を、

コ。ニ。ウ。フ。オ。ヲ。

こ。に。う。ふ。お。を。

こがは。おほかは。

いへのまへに、こがはが
あります。

めだかがういてゐます。

めだかをすくふことが
すきです。

ダイハ タケノコ。

タケ ガ、タクサン、ハエテキル トコロ ヲ
タケヤブ ト イヒマス。



コタロー ト ブンキチ ト ガ、
タケヤブ ノ ソバ デ、ハナシ
ヲ シテキマス。

コタロー「ブンキチサン。コノ タ
ケノコ ハ、タイソー、ノビマ

シタネ。タケノコ ト、セイクラベ ヲ シ
テミマセウ。」

ブンキチ「アー。キミ ハ、タケノコ ト、チヨ
ド、オナジ タカサ デス。」

コタロー「ブンキチサン。キミ ハ、ニスンホド、
ヒクイ ヨー デス。」

ブンキチ「ソンナラ、キミ ハ、ボク ヨリ、ニス
ンホド、セイ ガ タカイ ノ デスネ。」

コタロー「ブンキチサン。タケノコ　ハ、ハヤク、
ノビマス　カラ、イマニ、ボクラ　ヨリ、ズツ
ト、タカク　ナリマセウ。」

ケ。セ。ミ。エ。エ。

見、け、
え、せ、

け。せ。み。え。急。

たけのこと、せいくらべを　してみま
せう。

たけが　はえてゐます。

まつ　を　うゑてゐます。

ダイ九　カシノキトタケ。

アル　ヒ、カシノキガ、タケ　ニ、イヒ
マシタ。

「タケサン。キミ　ハ　セイ　ハ　タカイ　ガ、
カラダ　ガ　ホソク　テ、ナカ　ガ　カラ
デ、カゼ　ガ　フク　ト、ドツチ　ヘモ、マ
ガルネ。」

ボクナド ハ、カラダ ガ ジョーブ デ、
カタク テ、ツヨク テ、カゼ ガ フイテ
モ、ビクトモ セン。

ト イッテ、ジマン ヲ シマシタ。

タケ ハ、ダマッテ、キイテキマシタ。

ユフ
(ユー)

ソノ ヒ ノ ユフガタ、カゼ ガ、タイソー、
ツヨク、フキダシマシタ。タケ ハ、オトナシ
ク、カゼ ノ フク トホリ ニ ナッテキマ

シタ。カシ ノ キ ハ、ゴージョーニ、カゼ
ニ ムイテ、イバッテキマシタ。

スルト、カゼ ガ オコッテ、ヒドイ オト ヲ
サセテ、トートー、カシ ノ キ ヲ ヲッテ
シマヒマシタ。

モ。 ユ。 ム。 ヅ。

も。 ゆ。 む。 づ。

どっち へも、まがるね。

むも、
づゆ、

ゆふがた、かぜがふきだしました。
かぜにむいて、いばつてゐました。



あいうえお

かきくけこ

さしすせそ

たちつてと

がぎぐげご

ざじずぜぞ

だぢづでど

なにぬねの

はひふへほ

まみむめも

やいゆえよ

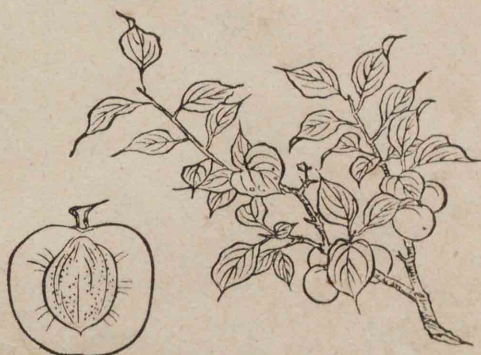
らりるれろ

わをうゑを

は^ひひ^ふふ^へへ^ほほ

は^びび^ぶぶ^べべ^ぼぼ

だい十 うめのみ。



これはうめのみです。
うめのみは、はじめに
は、いろがあをくで、あと
には、きいろく なります。
あをい ろち には、あぢが
すくて、きいろく なる と、すこし、あまく
なります。

みなさん。あをい ろち には、うめのみ
を たべて は いけません。たべると、びよ
ーきに なります。

うめ の みの なか には、かたい たね
が あります。その たね を、つち の な
か に、うづめておくと、うめ の き が
はえてきます。

うめ の みを しほ に つけて、そして、

しそのはをいれると、いろがあ
かくなりませす。それをほすと、みなさ
んのたべるうめぼしができます。

ダイ十一 ホタル。

「ホー、ホー、ホタル コイ。」

アツチ ノ ミヅ ハ ニガイゾ。

コツチ ノ ミヅ ハ アマイゾ。

ホー、ホー、ホタル コイ。」

コドモ ガ、ユフガタ、カウイフ ウタ ヲ
ウタツテ、オモテ ヲ トホリマシタ。

オハナ ハ、オカアサン ト、オモテ ニ デ
テミマシタ。

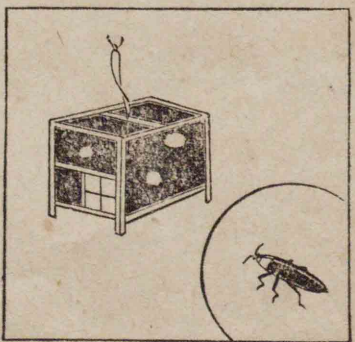
スルト、ホタル ガ、一ピキ、トンデキマシタ。
ソノウチニ、二ヒキ 三ビキ ト、ダンダン、
ヨツテキマシタ。ソシテ、クライ ナカ ヲ
ヒカツタリ、キエタリ シテ、トンデキマシタ。

オハナ「オカアサン。キレイデゴザイマス
 ネ。チヨード、オホシサマノヨードゴザ
 イマスネ。

ドコガ、アンナニ、ヒカルノデゴザ
 イマスカ。」

オカアサン「オシリニ、シロイトコロガアッ
 テ、ソコガヒカルノデス。トッテ、
 ミセテアゲマセウ。」

オカアサンハ、一ピキ、トッテ、
 オハナニヤリマシタ。
 オハナハ、ヨロコンデ、メヅラ
 シサウニ、ソレヲミマシタ。



だい十二 せんたく。

けふは、あをぞら、よいてんき。

まへのうちでも、

となりでも、

みづ くむ。あらふ。

かける。ほす。」

あらって、かけた、さをだけの

しま や かすりの

ほしものは

たろー、じろーの

ひとへもの。」

ダイ十三 シホー。

日

日ガ、アサ、ハヤク、デル ヨーニ ナリマ

シタ。

コノ コ ハ、ケサ モ、

ハヤク、オキマシタ。

イマ、日ニ ムイテ、テ

ヲ ヒロゲテ、タッテキマ

ス。



コノ コノ カゲ ハ、ソノ ウシロ ニ、

子

ミエテキマス。

コノ 子 ノ マヘ ノ ホー ヲ ヒガシ

ト イッテ、ウシロ ノ ホー ヲ ニシ ト

イヒマス。

マタ、ミギ ノ テ ノ ホー ヲ ミナミ

ト イッテ、ヒダリ ノ テ ノ ホー ヲ

キタ ト イヒマス。

ヒガシ、ニシ、ミナミ、キタ ノ 四ツ ヲ

アハセテ、シホー ト イヒマス。

日 ノ デル ホー ハ ヒガシ デ、日 ノ

ハイル ホー ハ ニシ デス。

ミナサン。コノ 子 ガ、モシ、ミギ ニ ム

イタラ、マヘ ハ ドノ ホー ニ ナリマス

カ。マタ、ウシロ ハ ドノ ホー ニ ナリ

マス カ。

だい十四 日 と にじ。

大

にじは、日とむきあって、てるもの
 です。あさは、にしのはーに、てて、
 ゆふがたは、ひがしのほーに、てます。
 あるゆふがた、あめがはれて、日が、
 くものあひだから、てりだしました。す
 ると、ひがしのそらに、大きなにじ
 が、てました。

ひとは、これをみて、みんな、「きれい

だ。きれいだ。」と、いって、ほめました。

にじは「じぶんは、日とむきあって、
 てるもので、日がなくては、てる
 ことが、できんものだ。」といふこと
 を、しりませんでした。

そこで、にじは、つぎのよーに、いひま
 した。

「日は、ただ、てるだけだから、たれ

人

も、ほめる人がないのだ。じぶん
 は、このとほり、うつくしいから、人
 が、みんな、あのよーに、ほめるのだ。
 日は、これをきいて、すぐ、くもに
 かくれました。すると、うつくしかった
 大き
 なにじも、すぐ、きえてしまひました。

だい十五 せみ。

木

じろーは、うめの木のしたで、お

中



もしろいものをみつけました。それを
 おとうさんにみせて、

「おとうさん。これはなん
 でございますか。
 からだは大きなはち
 のよーで、あしが、六
 ぽん、あります。また、中
 はからで、せが、二つ

に、われてゐます。

これはなんでございますか。」

とききました。

おとうさんは、わらって、

「それはせみのぬけがらです。せみ

は、はじめ、土の中で、大きくなり

ます。そして、あつくなると、土の

中から、でてきて、上のきものを

土

上

ぬぎます。ぬぐるときには、せがわれ
て、そこから、ぬけてでます。人はこ
のきものをせみのぬけがらと
いひます。」

と、いつて、をしへてやりました。

じろーは、おもしろがって、せみのぬけが
らをみてゐました。

そのとき、せみが、うめの木のえ

だ で、みんなんと、なきました。

だい十六 あさがほ。

かきね に、つる を

まきつけて、

さいた あさがほ、

あか や しろ。

しほり の はな も

うつくしや。」

あか、しろ、しほり、

どの はな も、

けふ は、ひる まで、

さいてるて、

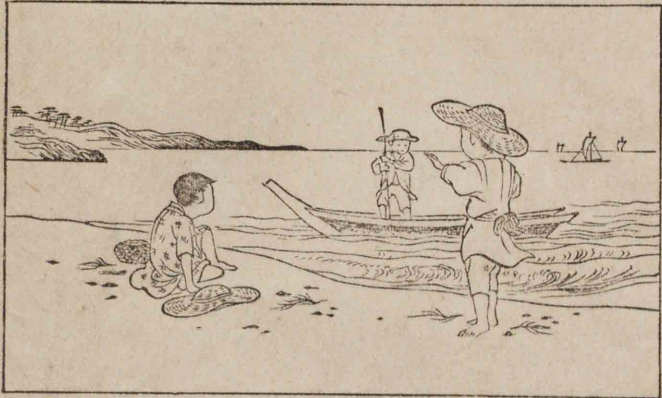
あした、また、さけ。

あさがほや。」

ダイ十七 ウミ。

コノ ヲトコノコ ハ リョーシ ノ 子 デ

川



ス。

コノ子ハ、イマ、フネニノツテキマス。

ムカフノホーニモ、フネ

ガミエテキマス。

ドツチノフネモ、ウミ

ニ、ウイテキマス。

ウミハ川ヤイケナド

トハチガツテ、タイソー、ヒ

ロクテ、ミヅガアヲアヲトシテキマス。

ウミバタハ、タイテイ、スナジデ、ハダシ

デ、アルイテモ、ヨイココロモチデス。

ハダシデ、アルイテキルト、ナミガヨ

セテキテハ、アシヲアラッテイキマス。

ココデ、キレイナコイシヤカヒガラ

ヲヒロツタリ、カニヲツカマヘタリス

ルコトガデキマス。

水

アツイ トキ ニハ、人ガ、ウミ ニ ハイッ
テ、水 ヲ アビマス。

ウミ ノ 水 ニハ、シホケ ガ アリマス。

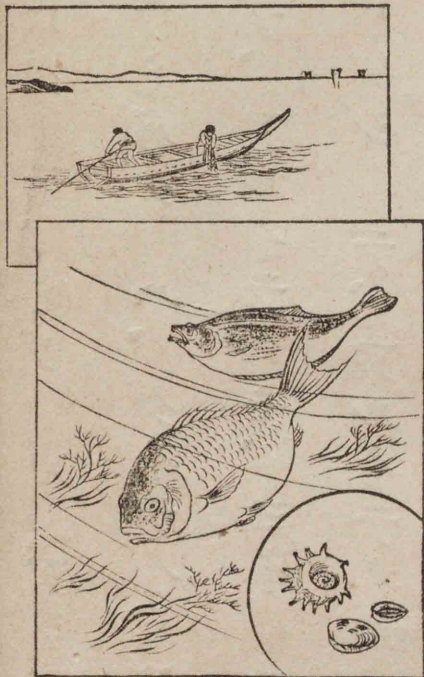
ウミ ニハ、タヒ ヤ カレヒ ヤ、ソノ ホ

カ、イロイロナ ウ

ヲ ガ 舁マス。マ

タ、ハマグリ ヤ

サザエ ヤ、ソノ



ホカ、イロイロナ カヒ モ 舁マス。

だい十八 からはす と はまぐり。

ある ひ、うみばた に、からはす が、たくさ

ん、あつまってるました。そして、「はまぐりを、

わって、たべよう。」とおもって、くちばしで、

つついてるました。

はまぐりは、かたくて、なかなか、われま

せんでした。

からす は、とーとー、はまぐりを すてて、
とんでいってしまひました。

しかし、一はだけ は、あと に、のこつてゐ
ました。そして、なに か、かんがへてゐる
よーす でした。

そのうちに、この からす は、はまぐりを
くはへて、たかい ところ まで、とびあがり
ました。そして、そこ から、はまぐりを

おとしました。



下

はまぐり は、下 の いは に あたつて、
われました。

からす は、すぐ、おりてきて、その はまぐ
りの みを たべました。

ダイ十九 ブドー。

マー。ミゴトナ ブドー デハ アリマセン
カ。



コノ ブドー ノ ツル ハ、タ
 ローノ オチイサン ガ、コド
 モ ノ トキ、サシキ ニ シタ
 ノ デス。
 サシキ ト イフ ノ ハ、エダ
 ヲ キッテ、ソレ ヲ、ジメン ニ、サシテオク
 ノ デス。サウ スル ト、ソレ カラ、ネ
 ガ ハエテキマス。

マタ、コノ タナ モ、タロー ノ オチイサ
 ン ガ、コシラヘタ ノ デス。
 ブドー ノ フサ ニハ、ミ ガ、タクサン、
 ツイテキマス。
 ソシテ、ソノ ミ ガ ジュクスル ト、アチ
 ガ アマク ナリマス。
 ミナサン モ、アキ カ ハル カ ニ、ヨイ
 ブドー ノ ツル ノ エダ ヲ キッテ、サ

シテオイテゴランナサイ。

だい二十 とけい。

たろーとおつるとが、とけいのまへで、はなしをしてゐます。

おつるにいさん。このとけいをみて、どうして、じかんがわかりますか。

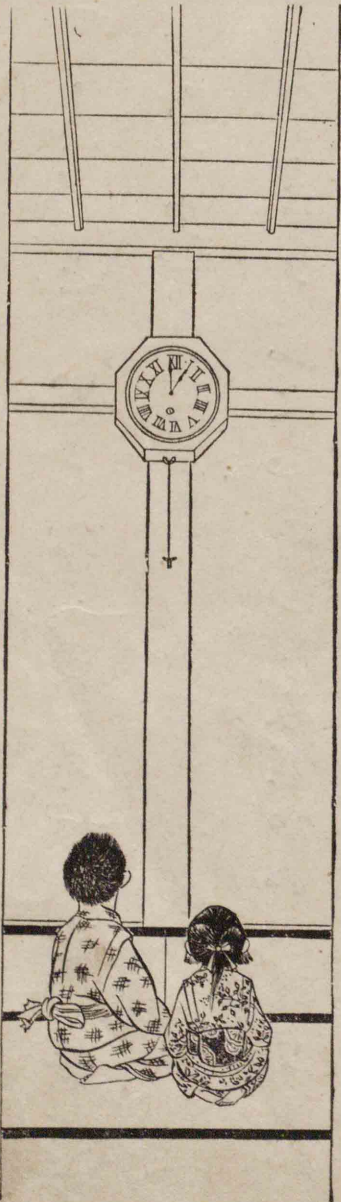
たろーそれは、はりが字をさすので、わかるのです。

字

おまへはあの字をしつてゐますか。

VII	七	I	一
VIII	八	II	二
IX	九	III	三
X	十	IIII	四
XI	十一	V	五
XII	十二	VI	六

おつるはい。それはねえさんにならひました。



たろー「それでは、いま、はりはどの字をさしてゐますか。」

おつる「みじかい はり は いち と いふ
 字 を さしてゐて、ながい はり は じゅ
 ーに と いふ 字 の そば を さして
 るます。」

たろー「さう です。その みじかい はり が
 さす 字 で、なんじ だ か、わかる の
 です。いま は、いち と いふ 字 を
 さしてゐます から、一じ です。」

それ。とけい が、一つ、なりました。

ごらん。ながい はり は、ちよーど じゅー
 に と いふ 字 を さしました。

これ と おなじ よーに、ながい はり
 が じゅーに と いふ 字 を さして、
 みじかい はり が に と いふ 字 を
 させば、二じ、ご と いふ 字 を さ
 せば、五じ、じゅー と いふ 字 を

させば、十じです。

また、もつと、くはしい じかん は、なが
いはりが さす ところをみる と、
わかる の です。」

おつる は、はじめて、とけい の みかた
を して、たいそー、よろこびました。

とけい が なった。

おきよ、こどもら。もう、よ が あけた。

まもの まかへよ。ごはん も できた。」

とけい が なった。

いそげ、こどもら。がっこー へ、いそげ。
つつみ かかへて、おくれん よーに。」

とけい が なった。

ならへ、こどもら。よく、せい だして。

本 を ひらいて、わきみ を するな。」
とけい が なった。

本

あそべ、こどもら。がっこー が ひけた。
はやく、かへって、まり、こま もつて。」



いろはにほへとちりぬるをわかよたれそ
つねならむうるのおくやまけふこえてあ
さきゆめみしゑひもせす

をはり。

明治三十六年九月一日印刷
明治三十六年九月三日發行

著作權所有 著者

文 部 省

明治三十六年十二月廿五日翻刻印刷
明治三十七年一月十日翻刻發行
明治三十七年十二月一日再版翻刻印刷發行

尋常小學讀本卷三一
定價金六錢五厘

明治三十三年八月一日
文部省檢査日



廣島市大手町二丁目五十九番邸
翻刻發行者 早 速 勝 三

大阪市東區唐物町四丁目八十番屋敷
印刷者 教育圖書合資會社
代表者 濱本伊三郎



行 所

大阪市東區唐物町四丁目八十番邸
教育圖書合資會社

